

フrendシップ事業

～大学の授業を地域にひらく～

フrendシップ事業は教員養成課程の表現系講座(音楽、保健体育、美術)有志教員とその担当授業、受講生を主に16年間継続されてきました。表現教育は様々な活動により自己表現を深め、その活動や想いを他者と共有することによって、高いコミュニケーション能力やデザイン力を培います。また、地域の文化活動への参加スタイルを、参加することを通して学び、地域の子どもたちや市民の方々と交流する事を目的としています。

子どもフェスタ

北川純子(音楽教育講座) 太田順康(保健体育講座) 谷村さくら(美術教育講座)

教職教養科目「表現教育」の受講生たちによる、神霜祭期間中のイベント企画。3班に分かれ、準備段階では異なる学年、異なる科の学生と協力し合って企画を進めました。神霜祭当日は地域の子どもたちと「共に遊ぶ」ことを通して「学び」ました。

《森の音楽隊》



「子どもが楽しむことができ、音楽を交えた遊び」をテーマに森の動物になれるお面をつけ様々な手づくり楽器を鳴らして楽しんでもらいました。特にマカスのワークショップは用意した材料が無くなるほど盛況でした。

《大教キッズコレクション》



等身大の着せ替えパネルをつくり、自分の好きな服や靴、靴、装飾品などを貼り付けてオリジナル顔出しパネルをつくってもらいました。最後に、パネルの後ろから顔を出して記念撮影!

《つりキング》



段ボールや色紙でつくった海の生き物をマグネットを付けた竿で釣ってもらうゲームです。付き添いの親御さんにも楽しんでもらうと、人魚や海賊の衣装を用意し、コスプレして魚釣りにチャレンジしてもらいました。

わくわく手づくり横丁

加藤可奈衛(美術教育講座)

学生グループ「だいきょう図工室」に授業名「コミュニティーとアート」の受講生が加わり、11月18日に柏原市リビエールホールで行われたワークショップ。ガチャガチャのカプセルやプラスチックカップに和紙を貼り、絵を描いたり折り紙を貼ってランプシェードをつくりました。



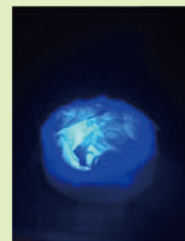
時間中はほとんど席が空かず、順番待ちの列ができました。参加者は地域の小学校低中学年を中心に子どもたち120名以上になりました



学生主体のワークショップでしたので、学生たちは子どもと楽しく関わりながらも、様々な課題に気づき、確認することができました。



じぶんがつくった作品がきれいに光っているのを見て、笑顔になる子どもたちに、こちらも嬉しくなりました。



合唱演奏

寺尾正(音楽教育講座)

「演奏企画実践演習Ⅰ、Ⅱ」「合唱Ⅰ～Ⅳ」の受講生たちによる、様々な場での合唱演奏。

本年度、これまでの長くに亘る地域連携、公演活動に対して、柏原市より表彰状と感謝状を頂きました。

たいへん喜ばしく名誉なことであり、フrendシップ事業に携わっている教員ならびに学生・院生一同、深謝しつつ気持ちを引き締めています。

今後も、柏原市をはじめとする地域との連携をより一層深め、「合唱演奏」ならびにフrendシップ事業が、「大学を地域にひらく」活動として継続されていくことを心から願っております。



「柏原市市制60周年記念表彰表彰状」  
「柏原市社会を明るくする運動 感謝状」  
を受領致しました。



柏原病院でのサロンコンサート  
演奏するだけでなく、患者さんとお話をしたり手遊びをしたりしました。懐かしい歌謡曲を中心に選曲し、「ふるさと」のリクエストと一緒に歌いました。



柏原病院でのクリスマスコンサート  
曲目はクリスマスソングやわらべうたなどで、手拍子をしてくださる方もおられました。